



平素より医療関係者・介護関係者のみなさまには、若松在宅医療・介護連携支援センターの事業にご協力いただき、心より感謝申し上げます。当センターの役割と活動をご紹介します。

### ①在宅医療に関する専門相談窓口

- 相談例
- ・ 往診医の相談、施設の医療対応状況（在宅酸素や看取り対応等）
  - ・ デイサービスや施設の対象者や送迎サービスなど
  - ・ 退院後の在宅移行の支援、レスパイト入院の相談など

医療や介護の連携で  
お困りの際は、お気軽に  
ご相談ください

### ②多職種・多機関への連携推進、医療・介護の人材育成

地域の医療・介護等関係者がお互いの業務の現状を知り、顔の見える関係づくり・連携の実現に向けて各種研修会を開催しています。困っていること、希望の研修等のご要望があれば是非ご連絡ください。

#### 【研修会のご報告】

- 1) 令和5年度若松区医療・介護従事者研修会（9月14日開催）

#### 『成年後見制度につなぐために本人を支援している関係者ができること』

講師：一般社団法人北九州成年後見センター行橋事務所所長 篠原博幸先生

成年後見制度の基礎や、患者・利用者の金銭管理や日常生活上の手続き・契約等の困りごとに対して、後見制度を使うメリットなど具体的に実践に活かせる内容でした。そして、事例を通して、解決できる制度や連携先、類型による役割の違いを知る良い機会となりました。また、本人申立が可能レベルなら、法律専門職（北九州成年後見センターみると等）へ。親族も本人も困難な場合は、行政へ相談する重要性も学ぶことができました。



- 2) 令和5年度多職種連携合同研修会（10月11日開催）

#### 『8050問題～複合的な課題を抱える家族の支援に必要な多職種連携～』

講師：山口大学大学院医学系研究科保健学専攻教授 山根俊恵先生

ひきこもり支援や8050問題で非常にご活躍されている山根先生より、多くの事例を交えたお話をいただき「医療者側が先回りしない」「問題をすぐに解決しようとしなない」「対話から信頼関係を築いていく」「相手を尊重し心に働きかけていく」ことの大切さを学びました。参加者からの満足度が高く山根先生の話をもっと聞きたいとご意見をいただきました。第2弾を実現できればと思います。



#### 【今後の研修予定】

日時：令和6年1月19日（金）19時～21時

#### 『北九州市の現状と認知症施策について』

講師：北九州市認知症支援・介護予防センター 認知症対策推進係長 山内 順子 氏

#### 『認知症の人と家族に対して専門職に求められる姿勢』

講師：東京慈恵会医科大学精神神経科 教授 繁田 雅弘 先生

場所：会場①メイン：パークサイドビル小倉 ②サテライト：若松区医師会館 ③ZOOM ウェビナー

### ③市民への普及啓発講演について

9月～11月にかけて、脇田漁港フィッシャリーナ、若松中央市民センター、年長者いこいの家の老人クラブやいきいきデイサービスにて、とびうめ@きたきゅうや在宅療養、人生会議について講演をさせていただきました。参加者の皆さまからは、地域での顔見知りや信頼関係を築き、支え合うことで安心した暮らしに繋がるのだと改めて教わる貴重な機会となりました。



### ④とびうめ@きたきゅうの登録状況



いつも登録促進にご協力いただき、有り難うございます。11月末までの新規登録者数は41,958名、うち若松区内4,486名の方に登録いただいています。とびうめ@きたきゅうは、マイナンバーカードと違い、緊急連絡先の登録も可能です。万が一の際の安心材料として、引き続きご協力をお願いいたします。